

【大学だより】

平成 21 年度卒業研究発表会は大盛況に終わりました

短大 3 年生 担任 田畑慶人

さる 7 月 30 日(木)に短期大学 3 年生の卒業研究発表会が開催されました。今回の卒業研究は「国家試験の勉強でわからなかった内容を実験等で確認しよう!」を大テーマとして、6 つの研究班が研究発表を行いました。各研究班の発表演題は次の通りでした。

演題 1:放射線によるカビの繁殖への効果

演題 2:空洞電離箱の作成

演題 3:過去 3 年(第 59 回 - 第 61 回)の国家試験問題出題傾向の調査

演題 4:化学シフトアーチファクトの発生と STIR 法の効果

演題 5:超音波診断装置の画像表示について

演題 6:Gd 造影剤における信号強度変化

学生達は、この日の発表のために「こういう質問されたらどうしよう」「あぁ、実験データがまとまらない」「発表時間が 10 分過ぎる」などと言いながら、大学に遅くまで残り、実験データの収集や発表資料の作成などを行いました。

発表会では、1 演題につき、発表時間 10 分質疑 5 分の 15 分の時間を取りましたが、質疑応答が活発で各演題とも予定の時間がオーバーしていました。発表した学生にとっては、頑張って準備した甲斐があったのではと思います。

教員としては、学生達に今回の卒業研究を国家試験勉強に活かしてもらいたいと思うとともに、探究心を持って物事に取り組む楽しさに気づいてもらえたら嬉しく思います。

最後に、卒業研究発表会と発表会後に開催された打ち上げ会の写真を示します。



演題 1 の発表風景



演題 2 の発表風景



演題 3 の発表風景



演題 4 の発表風景



演題 5 の発表風景



演題 6 の発表風景



打ち上げ会

以上

* 通巻 193 号 2009 年 10 月 1 日発行(H21 - No.3)より